

## 目標達成計画

作成日: 平成 24年 11月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		・グループホーム運営推進委員会に、外部評価機関の方の出席を依頼し、外部評価の内容について意見交換ができる場を作る。	・運営推進委員の方へ外部評価での気づきを伝え、目標計画に向けた取り組みを具体化する。	・今年度、1月または3月の推進委員会のお知らせをする。 ・評価内容の報告と目標計画の共有、意見を頂く。	5ヶ月
2		・地域のグループホーム事業所同士の交流・情報交換ができるような繋がり場の作れ、拠点となれるような働きかけを考えていく。	・グループホーム事業所間の繋がりを持ちながら、互いのケアの質の向上を図る。 ・地域の中でのグループホームの役割を知ってもらうアプローチを工夫する。	・複数事業所連携事業等で交流のある事業所と継続し、事業所間交流研修の調整をする。 ・グループホーム協議会、ケアマネ連絡会等に参加し、情報交換に努める。 ・グループホームケアの事例をまとめ、発表の機会を持つ。	10ヶ月
3		・外出時の電話の対応について 不在時に急用の電話を掛けられた際の連絡 例)留守番電話にするなど	・安心できる体制を整える	・全員で外出するような行事については、通信等で家族にあらかじめ知らせる。 ・併設特養の事務所にホームが不在になることを知らせ、急な電話の対応をしてもらう。(入居時、ご家族にはその旨を伝えていく)	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。